

学校法人 キリスト栄光学院
 栄光幼稚園・名護栄光幼稚園
 2018年度 学校自己点検・評価

幼稚園では「学校評価に係る学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」が平成19年10月30日に交付されました。その改正に伴い、学校の教育活動その他学校の運営状況について評価を行い、改善を図る為必要な措置を講ずることとされています。

本園も自己点検評価をとり行い、の教育方針、現状や今後の取り組むべき課題を「自己評価点検票」としてまとめ、掲示板にて公表することにいたしました。本園の現状をご理解いただくご参考になれば幸いです。また、本園はこの自己点検・評価を基に改善・改革に取り組み、より良い教育活動を行うように努めてまいります。

●教育目標

『神を畏れ、人を愛する人格』を育てる。これが私達の目標です。

具体的には

- ・『感性豊かな、聖く優しい思いやりの心（心育）』
- ・『深く考え工夫する良い頭脳（知育）』
- ・『きびきび丈夫で頑張りのきく強い身体（体育）』を目標とします。

●保育の特色

キリスト教主義の幼稚園であるため、聖書の教えに基づき保育を行います。

また園独自のカリキュラムの取り組みとしては「読み・書き・計算・歌い・弾く・走る」の進度別個別指導を通して個々の成長を手助けしていきます。

●自己点検・評価の実施概要

『幼稚園教諭のための自己評価チェックリスト』

編著者 『幼稚園教諭のための自己評価チェックリスト』編纂委員会

発行 株式会社 萌文書林 を用いて実施。

設問に対し、「はい」の数を集計し、「いいえ」の数を減算したものを評価点とする。

●実施日

2019年3月に実施（2018年度の保育を基に）

●実施対象者

各クラス担任、副担任（栄光幼稚園16人、名護栄光幼稚園12人）を対象として実施

●特記

- ・Ⅲ 地域の住民や関係機関との連携
- ・Ⅳ 小学校との連携

上記2項目については連携経験のある担任（栄光幼稚園5人、名護栄光幼稚園4人）のみ回答を実施。

評価項目		設問数	評価		具体的な取り組み	
			栄光	名護栄光		
I 幼児の発達援助	1 ねらい・内容	(1)情緒の安定	11	122	110	●園児一人ひとりを視野に入れ、それぞれの希望や要求に応えようとしている
		(2)保育内容	1)健康	12	152	106

		2)人間関係	12	148	124	<ul style="list-style-type: none"> ●園児が『自分でできた』という達成感を感じることができるような指導がなされている ●当番活動や教師の手伝いをするなど、人の役に立つ喜びを味わえるよう配慮されている
		3)環境	12	76	74	<ul style="list-style-type: none"> ●物を大切に扱えるように指導がされている ●沖縄という土地柄、四季を感じるような自然教材が手に入りやすく使用していない現状がある
		4)言葉	12	146	112	<ul style="list-style-type: none"> ●返事、挨拶に力を入れ、自分の言葉で自分の気持ちを表現できるように指導している
		5)表現	12	110	94	<ul style="list-style-type: none"> ●音感教育、製作活動を通し、あらゆる手法で表現できるような機会を取り入れている
		(4) 幼児の人権	7	57	38	<ul style="list-style-type: none"> ●地域がら外国籍の園児もいて多文化とのかわりを持っている ●虐待防止・早期発見に努めているが研修に参加する等、取り組みを強化する必要がある
2. 幼児の発達援助の留意項目	(1)指導計画の作成	13	90	12	<ul style="list-style-type: none"> ●年・学期・月案など長期的な指導計画、具体的な日案などの指導計画を作成している ●具体的な保育の反省、評価を行い、それを次の指導計画の作成に活かしている 	
	(2)保育計画の作成	6	70	14	<ul style="list-style-type: none"> ●保育日誌を毎日作成し、園児の発達理解に活かしている ●幼児の個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて管理されている 	
	(3)健康管理	12	112	82	<ul style="list-style-type: none"> ●身体測定、内科、歯科検診、学校薬剤師による環境試験を行い、文書にて保護者への通知を行っている ●家庭からの情報を元にアレルギーをもつ園児さんへの除去食の提供を個別に行っている 	
	(4)保育環境	13	124	80	<ul style="list-style-type: none"> ●季節を意識し、教室の壁面、窓飾り等を変更している ●砂場の消毒を月一回行い、清潔に使用できるようにしている 	
	(5)安全管理	6	72	58	<ul style="list-style-type: none"> ●危険を全て除去するのではなく、幼児にとって危険な場所、行動を理解させる指導を行っている ●年2回の避難訓練、年1回の交通安全指導、不審者対策を警察署、消防署と協力し実施している 	
II 子育て支援	1 子育て支援	11	118	52	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の子育て支援として交流の場を提供する等の支援活動を行っている 	
	2 預かり保育	8	40	20	<ul style="list-style-type: none"> ●預り保育ニーズが高まっている現状を認識しており、さらなる体制の強化が課題である 	

Ⅲ 地域の住民や関係機関との連携	6	58	28	●教育実習生や職場体験の児童の受入れを積極的に行っている
Ⅳ 小学校との連携	6	-12	-8	●進学する小学校が多岐にわたるため十分に連携が取れていると言えない現状である
Ⅴ 保育にあたっての留意事項	29	56	34	●保護者からのクレーム等があってもそれを改善項目として受け入れることができている ●保育時間の長時間化に伴い、職員間の情報共有のための時間確保が課題となっている

2019年度への課題・取り組み

- キリスト教を主体としたところの教育を中心に、正しい生活習慣を身につけることを引き続き行っていく。
- さらなる幼児個々の成長を促すような環境作りの徹底を図ることが大切だと考え、実施する。
- 育児、教育相談をより充実させるため、関係機関との連携を密にすると共に、教職員は日々の研修、研鑽に努め、よりきめ細やかな子育て支援体制を整えていく。
- 認定こども園として地域と連携し、特に小学校との接続に力を入れ安心して園児さん達が生活できるよう努める。
- 保育の長時間化、預り保育ニーズの高まりを受け、職員間の情報共有が課題となっているので会議等の時間確保に努める
- 園内環境のIT化に取り組み、担任教諭や補助教諭の負担軽減をはかる